



2013年  
1月25日  
NO.356

九州旅客鉄道労働組合  
福岡市博多区博多駅前2丁目3-23  
TEL 092-472-7950(代)  
URL http://www.jr-krwu.org  
発行人/徳田哲也 編集人/北村公次

スローガン(案)

# 「飛躍・信頼・共働」

= 新たな時代への挑戦! =

## 第25回定期中央委員会

1. 「鉄道事故・重大労災事故ゼロ」に向け、各級機関が一丸となって取り組もう!
2. 「一企業一労働組合」を目指し、分会の活性化と組織強化・拡大に取り組もう!
3. 2013春季生活闘争を全員参加で取り組み、働きがいあるJR九州グループをつくろう!
4. 中期政策課題の実現のため、中間地方選挙と参議院議員選挙の勝利に向け全力を挙げて取り組もう!

### 職場討議資料

#### I. はじめに……(略)

#### II. 私たちを取り巻く情勢について(略)

#### III. 具体的な運動の進め方について

#### 1. 安全確立に向けた取り組み

- (1) 安全衛生委員との意見交換会の開催について  
各地本とスケジュールを調整しながら、5月から6月の間で実施することとします。
- (2) 「重大労災防止の行動指針」改訂版「安全指針」等、学習会の開催について  
① 開催時期、場所、方法、内容等を速やかに決定し、実行する。  
② 講師については、JR連合、中央本部、地本役員等で行う。  
③ 鉄道労災事故に関連性が高い業種のグループ会社等へ参加を呼びかける。  
他産業・他労組の安全対策の取り組み事例を学び、我々の取り組みに積極的に活用することを目的に、「安全交流会」を開催します。
- (4) JR九州連合との連携した取り組みについて  
JR九州連合と連携し「すべてのJR関係労働者の

#### 2. 組織強化・拡大の取り組み

- (1) 組織拡大の取り組みについて  
① 第二次組織拡大期間(2013年2月1日～3月31日)、第三次組織拡大期間(2013年5月1日～6月30日)を設定し、引き続き未加入者を重点にした取り組みの強化を図っていきます。  
② 2013年度新規採用(PS社員含む)の全員加入に向けて、関係地本・分会と協力して取り組みます。  
③ 具体的な取り組みについては、組織担当者会議及び拡大組織担当者会議で意思統一を行うこととします。
- (2) 組織強化の取り組みについて  
① 出向者及び退職前提休職者に対しては、JR九州労組をより身近に感じてもらうために情報の定例発送、出向先訪問、地本毎に出向者・退職前提休職者激励集会の開催等、地本と連携した取り組みを行います。  
② 分会執行委員会等の定例開催、及び組合掲示板の設置と有効活用の指導を行い、日常の世話役活動の推進と合わせ、分会組織の機能・活性化を図ります。  
③ 「最優秀及び優秀分会表彰」については、「分会活動状況報告書」及び「分会活動状況一覧表」を基に、各地本の評価等を勘案しながら選出を行い、本部及び地本定期大会で表彰を行います。
- (3) 第二次総対話集会の開催について  
① 開催期間……2013年2月12日(火)～3月13日(水)

#### ② 課題

- ア 2013春季生活闘争の取り組みについて  
イ 安全(衛生)の確立に向けた取り組みについて  
ウ 政策課題の取り組みについて  
エ 組織強化・拡大の取り組みについて  
オ 中間地方選挙の取り組みについて  
カ その他
- (4) 青年・女性委員会の育成について  
① 柔軟な発想と企画力で、青年・女性組合員が参加しやすい研修等の開催を指導します。  
② 「親子対話」の各地本単位での開催を目指します。  
③ ボランティア活動等で、地域社会に貢献する青年・女性委員会を育成します。  
(次期大会までの主な取り組み)  
・新成人を祝う会 2013年1月～2月(各地本開催)  
・ユースセミナー 2013年4月～7月(各地本開催)  
・ひなまつりパーティー 2013年3月  
・ユースラリー 2013年5月11～20日  
大分県内(予定)  
・安全学習会 2013年6月29日
- (5) 民主化促進運動の取り組みについて  
① JR九州労組の取り組み  
ア 重点課題として  
民主化闘争の支援単組であるJR九州労組は、当該単組の活動を最大限支援するとともに、JR連合九州地協と連携した九州におけるJR貨物の民主化支援の取り組みを継続・強化していくこととします。  
イ 具体的取り組み  
① JR連合と連携し、革マル派が浸透するJR総連運動の異常性を訴え、JR連合への総結集を呼びかけます。  
② 民主化闘争完遂の一翼を担うべく、組織拡大運動を積極的に展開します。  
③ 県連合や九州交運労協等の共闘団体及び加盟単組など、内外に民主化運動への理解と支援を働きかけます。  
④ JR連合が取り組む当該単組支援行動等に積極的に参加します。  
⑤ JR連合九州地協と連携し、貨物民主化支援に積極的に参加します。
- (6) JR九州労組退職者連絡会について  
① 会員1、100人の目標達成に向けて、毎月の退職者の100%加入を目指すとともに、既退職者につい

ては、地区の退職者連絡会と連携した拡大に取り組みます。

〔地区毎の目標数〕

福岡地区	長崎地区	大分地区	熊本地区	鹿児島地区
350	90	220	220	220

- ② 現退一致を原則として、J R連合やJ R九州労組が進める各種取り組みへの協力を呼びかけます。
- ③ J R九州労組が行うサークル活動等への参加を積極的に呼びかけます。
- ④ 「交連共済生協」が扱う各種共済への継続加入や新規加入に取り組みます。
- ⑤ J R九州労組ホームページの活用を行うとともに、「退職者連絡会情報」を通じたタイムリーな情報の提供に努めます。

### 3. 男女平等参画推進の取り組み

- (1) J R連合の「第2次男女平等参画推進行動計画」の目標達成に向けた取り組みを、引き続き行っていきます。各地本・分会において女性執行委員を1人以上選出するという目標を、2013年8月開催の各地本定期大会及び9月以降開催の各分会定期大会で実現するために、各地本での具体的な取り組みを進めていきます。

- (2) 総対話集会における男女の参加比率の調査を継続して行うとともに、女性の参加を阻害している要因の摘出を行い、その解決に向けた取り組みを行います。
- (3) 「男女平等参画」についての勉強会やセミナー・研修会などへの教育活動に女性の参画を積極的に進めるとともに、女性リーダーの育成を図ります。
- (4) 女性が長く働き続けられる制度や職場環境の改善を求めるとともに、男女双方が家事や育児に係わることができるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組みます。
- ① 子育て支援に係わる課題
  - ア 育児・介護休暇における欠格条項の除外
  - イ 短時間勤務の全体化
- ② 女性組合員を対象としたアンケートの実施

### 4. 連帯活動の取り組み

- (1) オイスカ西日本研修センターと連携した活動について  
オイスカ西日本研修センターと連携し、福岡市早良

区板屋地区の地域活性化ボランティア活動に取り組むとともに、各地本での地域活性化ボランティア活動を推進します。

### (2) 回収ボランティア活動について

- ① 活動の周知
  - ア 各地本で作成したポスターを活用して、活動の周知に努めます。
  - イ 各地本で開催される諸会議（分会代表者会議等）で、回収活動への協力要請を行うこととします。
- ② 回収ボックスの設置
  - ア 引き続き、各地本・地区事務所に回収ボックスを設置します。
- ③ その他の活動について
  - ア 自然災害等に対する支援活動は、J R連合や各地本と連携し対応することとします。

### 5. 共闘関係の取り組み

- (1) J R連合九州地方協議会（J R連合九州地協）の取り組みについて

- ① J R連合九州地協に設置される「組織対策会議」に参加するとともに、貨物民主化に向けた支援行動に取り組みます。
- ② J R連合九州地協が開催する「2013春闘・中間地方選挙勝利総決起集会」に積極的に参加します。
- 日 時 2013年3月3日(日)
- 場 所 朝日ビル地下1階13・14・15号室
- ③ その他、J R連合九州地協の取り組みに積極的に参加します。

### (2) J R九州グループ労働組合連合会（J R九州連合）の取り組みについて

- ① J Rグループにおける安全確立の取り組みについて
  - ア すべてのJ R関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロに向け取り組みます。
  - イ 各グループ企業内におけるコンプライアンス、労働安全衛生委員会等の充実に取り組みます。
  - ウ J R連合と連携し、グループ労組における安全デイスカッションを開催します。
  - エ 三役会議、幹事会を適宜開催し、情報の共有化を図り、一体となった活動を目指します。
- ② 2013年グループ労組春季生活闘争の取り組みについて
  - ア J R連合の2013年グループ労組春季生活闘争の基本方針を軸に、具体的な取り組みを行います。

### ③ グループ労組の組織化について

第22定期大会を目標に、九鉄工業、三軌建設、KDS、鉄道営業の各グループ会社の組合組織化に向け、具体的に取り組んでいきます。

### (3) 連合・交連労協に対する取り組みについて

- ① 九州交連労働運動に積極的に参加し、J R連合が進める交通運輸政策の充実、実現を目指した取り組みの強化を図ることとします。
- ② 各県連合による制度・政策要求の中に交通政策を組み込ませるよう働きかけるとともに、各県との交渉等にも参加することとします。
- ③ 連合九州ブロック並びに県連合、九州交連労協が主催する「2013春闘勝利総決起集会(仮称)」等に積極的に参加することとします。

### 6. 政策実現に向けた取り組み

- (1) 「2008年新ビジョン」実現に向けた取り組みについて

- ① 雇用・労働条件の向上に向けて
  - ア J R九州労組版賃金実態調査結果を活用した「新賃金・昇進制度」検証の深度化を図ります。
  - イ 50才以降の年齢給昇給と55才以降の基本給支給率の改善に取り組みます。
  - ウ 退職手当については、第二基本給の見直しの早期実現と退職金制度の改善に向けて検討を行います。
- ② 福利厚生等の充実に向けて
  - ア 次世代育成、介護支援制度のより一層の充実を求めます。
- ③ J R九州を取り巻く諸課題の解決に向けて
  - ア J R連合、J R連合国会議員懇談会、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム、J R九州労組議員団会議と連携し、継続的に取り組むとともに、行動の全体化を図ります。

- ④ 政策運動の深度化に向けて
  - ア 私たちが、安全に安心して働き、健康的な生活を送るためには、日々業務に携わる組合員の声を如何に収集し、検証・検討したうえ、改善に向けた取り組みを行い、そして組合員に報告し、更なる意見の収集という運動のサイクルを分会・職場段階までしっかりと作り上げることが何よりも重要です。そのこ

とを通じて分会までの組織の活性化を果たしていくものとします。

### (2) J R産業を取り巻く諸課題の解決に向けて

政治の場を能動的に活用した政策活動とすべく、J R連合国会議員懇談会をはじめとした各議員との連携を、より一層強化することとします。

### (3) J R九州をはじめとする三島・貨物会社の自立経営確保に向けて

- ① 地方路線活性化
  - ア 過疎化の進む地方路線の維持はJ R各社共通の喫緊の課題であり、今後地方路線をどのようにして活性化させていくか、事例をひもときながら提言をまとめる。

なお、地方ローカル線だけでなく、新幹線空白地域の都市間輸送も扱うなど、幅広く地方鉄道活性化に資する課題を取り扱う。

- ② J R九州経営安定化
  - ア 現在の経営安定基金、税制特例措置といった不確実な経営支援策では安定経営を将来に亘り維持することは不可能であることから、経営安定策を抜本的に見直す必要がある。
  - イ また、将来の株式市場を見据えた支援策を念頭において検討を行う。

### 【2013年度予算に求める事項】

- ・ J R三島・貨物会社が国鉄から継承した老朽化の著しい構造物・車両の大規模改修や取替え等への支援
  - ・ 整備新幹線の既着工区間の早期建設をはじめとする計画的な建設推進、及び並行在来線の安定経営による鉄道貨物ルートと地域交通維持のための支援
  - ・ J Rをはじめ、民鉄、第三セクターの地方路線の維持・活性化に向けた助成策
  - ・ 九州北部豪雨災害を教訓にした鉄道防災対策の強化と災害復旧事業費の拡充
- (4) 総合交通政策の実現に向けて
- ① 交通インフラの公共負担
    - ア 鉄道施設、空港、港湾施設の公租公課の免除

イ 鉄道を含む公共交通サービスの高質化のためのインフラ助成

② 運搬員(鉄道車両、航空機、船舶等)への助成

ア 固定資産税の廃止(世界的にも特異な税、エコカー減税とのバランス)

③ J R九州・三島(北海道、四国)会社については、国鉄改革のスキームを踏まえ、J R三島会社の経営安定基金において一定額の運用益を確保するための拡充策を、早急に講ずるべきである。

④ 交通重点政策の実現に向けた取り組み

ア 整備新幹線の建設に関する取り組み

イ 地方ローカル線確保の取り組み

ウ 鉄道防災対策の強化に向けた取り組み

⑤ 交通基本法の早期成立

(5) 調査活動の充実に向けて

引き続きJ R連合が実施する「賃金実態調査」のほか、各種意識調査や外部機関からの調査依頼等に各担当部と連携し取り組みます。

### 7. 労働条件改善の取り組み

1 2013春季生活闘争の取り組み

(1) J R連合の2013春季生活闘争について

① 基本的な考え方(略)

② J R7単組の賃金水準

2012年度のJ R7単組賃金実態調査(約77%の集約)結果によると、J R連合が定める「上位目標賃金」(全産業1千人以上、男子高卒、第3四分位)については、J R東海ユニオンが全ての年齢層で到達しており、J R西労組は、若年層は到達しているものの、高年齢層において上位目標賃金には到達していません。また、J R四国労組とJ R九州労組は、依然として「必達目標賃金」(全産業1千人以上、男子高卒、中位数)には到達していない状況です。更に、J R北労組、J R東日本ユニオン、貨物鉄道労における、母体数が一定確保している55才時点で見ると、それぞれ「必達目標賃金」には到達しておらず、その乖離も非常に大きい状況となっています。

③ 具体的な賃上げ要求の内容

ア 平均賃金引き上げ方式

① 2013年4月1日現在の賃金諸元(想定値) 平均基準内賃金 321,800円(41・6才、

定昇相当分込み)

② 統一要求 1,000円(純ペア)

④ 非正規労働者に関する要求

連合が掲げる「誰もが時給1,000円」や、地域最賃の引き上げ、成果配分、正社員との均等・均衡待遇等を勘案し、取り組みます。

ア 時間給の引き上げ

・ 時給引き上げについては、正社員との均等・均衡処遇を目指す観点から、30円を目安として時給の引き上げを目指します。

・ 時間給1,000円に達していない場合は、その実現を目指します。

イ 均等・均衡待遇の実現

・ 正社員化の制度創設を目指します。

・ 諸手当等(期末手当、時間外手当、通勤費など)を要求します。

・ 労働契約法改正を踏まえ、正社員との均等・均衡待遇(昇給ルール、時間外割増適用、無期契約転換後における均等・均衡処遇の確保、慶弔休暇等)を要求します。

・ その他労働条件の改善に向けて要求します。

(2) J R九州労組の2013春季生活闘争について

① 基本的な考え方

J R連合の2013春季生活闘争方針を踏まえ、全年齢層での「必達目標賃金」(中位数)への早期到達を目標に、賃金要求を設定するとともに、ワーク・ライフ・バランス実現に向けた労働時間短縮、次世代育成支援、高年齢者層の多様な働き方の創造、有期雇用社員の雇用制度改革等の制度改革要求を柱とした総合生活改善を図る取り組みとします。また、グループ労組の賃金改善、労働条件整備・改善に向けた取り組みを共同して積極的に展開していくこととします。

② 主要要求内容

ア 要求額について、定期昇給の確保を前提に、純ペア1,000円とします。

イ 夏季手当について、実質賃金の向上を目指して同時要求することとし、要求額を3・0ヵ月とします。また、嘱託再雇用社員に対する支給月数の改善を併せて求めます。

ウ 高年齢者層の賃金改善をはじめとした、労働条件改善に向けた要求を強力に行います。

エ 時短・次世代育成支援等、政策・制度要求を行います。

③ 具体的な進め方について

ア 要求書については、第25回定期中央委員会で方針決定後、速やかに会社へ提出します。

イ 2013春闘スローガンを活用し、全組合員・家族の取り組みを展開します。

ウ 全組合員・家族の取り組みとなるよう、家族署名行動を展開します。

エ 役員世代交代が進む中「春闘運動」の継承を図るべく、春闘討論集会等を地本・地協毎に開催し、全組合員参加の春季生活闘争を目指します。

オ J R連合九州地協主催による総決起集会へ積極的に参加し、連帯の輪を広げるとともに、連合のヤマ場に合わせ、相場形成の一翼を担っていきます。

カ 最終妥結に向けて、地本委員長会議を開催し、意思統一を図ります。

2 2012年度下期効率化施策の取り組みについて

交渉経過を精査のうえ、各地本で積み残した課題と併せ交渉を強化し、残された課題の解決を図っていきます。

また、平成25年3月ダイヤ改正実施後の検証活動を行い、課題解決に向けた取り組みを強化していきます。

3 クルーズトレイン運行に係わる取り組みについて

これまで、基本的な運行計画、車両新製計画等について明らかにしてきましたが、クルーの職名、責任・権限、行路等の具体的労働条件や、他の職種に係わる残された課題について、2013春を目前に整理を図っていくこととします。具体的には、引き続き「クルーズトレイン対策委員会」を設置し、課題解決に向けた協議・検討を行っていきます。

4 J R九州高速船(船舶分会)の取り組みについて

J R九州高速船の経営状況は2期連続の赤字決算の見通しが示されるなど大変厳しい状況にあります。 「安全・安定運航」の確保に努めるとともに、各種経営施策に対して積極的に協力している社員・組合員の頑張りにより、2013春闘「要求を行い、各種手当を含む賃金改善、労働条件改善を図る取り組みを、福岡地本・船舶分会と連携して進めていきます。

(2) 船舶休船(上架)について

本部は、昨年の対馬航路新設に伴う船舶復帰やこれに伴う新規採用の実施等、この間の会社施策を質すとともに、今後の経営安定化策等、J R九州高速船の将来展望を明らかにするよう求めています。今後は、こ

これらの課題と本施策に伴う効率化施策等について協議していくとともに、今後も安心して働き続けられるJ R九州高速船を創造する取り組みを、福岡地本・船舶分会と連携して進めていきます。

5 J R九州病院(病院分会)の取り組みについて

看護師の確保をはじめとした、病院関係社員特有の課題抽出と改善に向け、引き続き、連合「安心と信頼の医療と介護中央集会」や「J R連合医療連絡会」に積極的に参加していきます。

また、これらの活動を通じてJ R九州病院における勤務制度・労働条件改善を図る取り組みを、福岡地本及び病院分会と連携して進めていきます。

### 8. 政治・国際関係の取り組み

(1) 2013年中間地方選挙の取り組みについて

① 組織内推薦候補

選挙区	氏名	所属	役職	記事
大分市議会	河内 正直	市議	無2	副団長 2013年2月24日

② 組織外推薦候補

選挙区	氏名	所属	役職	記事
那珂川町議会	羽良 和弘	町議	社新	西労組 2013年3月24日

那珂川町議選の具体的な取り組みについては、当該地本と協議のうえ提起します。

(2) 第23回参議院議員通常選挙の取り組みについて

① 任期満了 2013年7月28日

② 組織外推薦予定候補

選挙区	氏名	年齢	所属	出身組織	記事
全国比例	河合 孝典	49	民1	U Aゼンセン	帝人労組出身

③ 告示日 2013年7月21日(予定)

④ 具体的な取り組み

諸行動等の取り組みについては、J R連合及び各地本と連携し行うこととします。

(3) 交通重点政策の取り組みについて

私たちは、J R連合の産業政策である21世紀鉄道ビジョン「政策検討委員会」の考え方に基つき、J R九州を中心とする交通に係わる政策課題について本部、地本、地方議員団と国会議員を含めた自治体要請及び「交通重点政策意見交換会」を開催します。

(4) 国際交流の取り組みについて

国内外の労働者と連帯し、世界平和、労働者の地位向上、福利の増進に寄与するために、国際連帯活動に引き続き取り組みます。特にJR連合、ITF(国際運輸労連)、連合、交運労協が行う国際活動には、その要請に基づき対応していくこととします。
なお、相互交流協定を締結している「江蘇交通控股有限公司」と及び「上海鉄路局工会」とは双方の国際部と慎重に検討し、円滑な交流と判断した場合に対応を進めます。

9. 教宣・レク関係の取り組み

(1) 教育活動の取り組み

- ① 組合員対象セミナー
  - ア ニューメンバーズ・セミナー
 

開催時期 加入・配属後、速やかに開催します。

対象者 2013年度新規組合員

目的 JR九州労組の組織概要・活動などの理解浸透を目的に、各本単体で開催します。
  - イ ユースセミナー
 

開催時期 4～7月

対象者 入社(加入)3年目の組合員

目的 将来のJR九州労組を担う役員・活動家の育成を目的に、青年・女性委員会が主体となり、各本単体で開催します。
  - ウ 新任乗務員セミナー
 

開催時期 随時

対象者 新任運転士及び車掌

目的 他労組と競合する職場の実態を踏まえて、意識高揚と団結強化を目的に、各本単体で開催します。

- ② 役員対象セミナー
 

「分会役員セミナー」は、世話役活動の充実と役員スキルアップを目的に、組織の原点である分会役員を対象に、各地本毎に企画・開催します。
- (2) 宣伝・広報活動の取り組み
  - ① 機関紙「JR九州労組新聞」の発行
 

ア 月2回の定期発行を目指します。

イ 投稿の掲載によって、親しまれる紙面作りを目指します。
  - ウ 教宣担当者会議を必要に応じて開催し、紙面構

成や編集体制等について議論します。

エ 通信員を地本・分会毎に配置し、情報収集に努めます。

② ホームページの活用

ア 情報の更新作業は、本部にて随時行います。
イ 掲載している機関誌・情報の適宜更新と有効活用を目指します。

ホームページURL <http://www.jr-kwuu.org>

③ 地本機関紙の「月1回発行」に向けて

ア 技術交流を目的に地本機関紙の相互配布を継続します。

イ 機関紙作成意欲の高揚と成果発表の場として機関紙コンクールを行います。なお、コンクールは第22回定期大会で行います。

④ 各地本で教宣担当者会議開催を目指します。

⑤ 組合掲示板の改善と積極活用

「第2回組合掲示板に関するアンケート調査」結果を活用した改善活動に取り組みます。

⑥ 2013春闘スローガンの活用

組合員全員参加の2013春闘を構築するために「春闘スローガン」を機関紙や決起集会の横断幕等に活用します。

(3) レク・サークル活動の取り組み

① 第22回定期大会までの本部大会予定

種目	準備地本	開催予定日
第11回ボウリング大会	鹿児島	2013年2月16日(日)
第12回写真撮影会	福岡	2013年4月7日(日)～8日(日)
第10回軟式野球大会	長崎	2013年5月19日(日)～20日(日)
第14回囲碁・将棋大会	大分	2013年6月8日(日)～9日(日)

② 参加の呼びかけについて

組合員・家族のほか、退職者連絡会・グループ労組に対しても引き続き、参加を呼びかけます。

③ 第5回サマーフェスティバルについて

次回の開催は2014年(予定)であることから、レク・サークル担当者会議で協議し、第22回定期大会で具体的な開催方法を提示します。

10. 事業部関係の取り組み

- 1. 第二次取り組み期間について
- (1) 取り組み期間 2013年4月1日～5月31日

(2) 取り組み内容

- ① 「交運共済」 九州事業本部
- ② 「がん保険」 (株)トータル保険サービス
- ③ 「あんしん切符」 明治安田生命保険相互会社
- ④ 「JR私傷病共済」 JR連合
- ⑤ 「ろうきん運動」 九州労働金庫

(3) 「交運共済」の取り組みについて

今年1月29日に開催された交運共済九州事業本部第2回代表者会議で、2012年度7月期の取り組みについて提起されましたが、具体的なJR九州労組の取り組みについては、第2回事業担当者会議で決定します。

(4) 「JR私傷病共済」の取り組み

- ① 制度内容
  - ① 掛金(年間)は、一口4,000円・二口8,000円です。
  - ② 見舞金は一口で1日2,000円です。なお、最高給付日数は180日です。
  - ③ 見舞金の他に、出産見舞金の支払もあります。
  - ④ 事業年度は、毎年8月1日から翌年7月31日までの1年間です。
- ② 取組内容
  - ① 未加入者に対する加入促進を強化します。
  - ② 新入組合員を対象に100%の加入を目指します。
  - ③ スケジュール(予定)
    - 3月上旬 募集用チラシ・加入申込書の 送付(新入社員対策用)
    - 4月上旬 募集用チラシ・加入申込書の 送付(一般用)
    - 4月中旬 継続申込書・加入者一覧表の送付
    - 4月中旬 加入手続き開始
    - 5月末 本部締切り
    - 6月上旬 掛金控除手続き(夏季手当から控除)
    - 夏季手当 掛金控除(チェックオフ)
  - ④ 加入状況及び2013年度目標
    - 第2回JR連合私傷病共済運営委員会を受け、第2回事業担当者会議で決定します。

(5) 「ろうきん運動」への取り組みについて

これまでと同様に九州ろうきんと連携して、メインバンクとしての労金の再周知を図るため、機関紙等で呼びかけるとともに、不幸な組合員を出さないために、特に若手組合員を中心に、クレスラ問題学習会の開催や分会での世話役活動を通じて生活指導を図るなど、積極的に取り組んでいくこととします。

(6) 各地本事業担当者会議の開催について

第二次加入促進月間の取り組みを実施するにあたり、本部は各地本に対し、各地本事業担当者会議を3月下旬までに開催するよう要請します。

11. JR九州労組統一20周年の取り組み

JR九州労組第22回定期大会に合わせ開催する統一20周年記念行事については、引き続き「20周年記念行事準備委員会」で検討を深め、記念行事(レセプション)の成功に向け取り組んでいくこととします。

12. その他関係する取り組みについて

- (1) 専従役員定数について
 

第22回定期大会で、専従役員の定数を3名削減します。配置数は本部6名、福岡地本3名、長崎・大分・熊本・鹿児島地本各1名とします。
- (2) 今後の検討課題について
  - ① 組織機構の見直し
  - ② 剰余金の取り扱い
  - ③ 組合費改訂

IV. 当面の組織運営について

当面する主要課題を取り組むため、下記のとおり機関会議を開催し意思統一を図ります。

- 1. 2013年春の総対話行動(第二次)は、2月12日(火)～3月13日(水)にかけて開催します。

- 2. 春闘交渉のヤマ場には各地本委員長会議を開催し、集約に向けた取り扱い等について協議します。

- 3. 当面する諸課題に対応するため、引き続き各種委員会を開催し意思統一を図ります。

- 4. 第22回定期大会は、2013年7月10日～11日に長崎地本を準備地本として開催します。